

技術情報

資生堂パーフェクトカバーについて

資生堂第1リサーチセンター開発研究所研究員 吉田 麻里

“

副主幹研究員 熊谷 重則

1. はじめに

現在、太田母斑・血管腫などのあざを有する方は、全国で太田母斑が70万人、血管腫が140万人と推定されます。治療法としてはレーザー治療・植皮などが挙げられますが、これらの方法は、経済的・時間的に負担がかかったり、肉体的な痛みを伴うといった問題があります。

資生堂は、あざ・しみ・傷あとに対応する商品として「資生堂スポットカバー」を1956年に発売していますが、これを含め現状の商品は高い隠蔽力でカバーするため、厚づきで不自然な仕上がりになったり、化粧法が複雑であるなどの問題がありました。

こうした背景を踏まえ、92年2月から、昭和大学医学部（形成外科教室）や関連の病院の協力を得て、太田母斑・単純性血管腫患者約70名を対象に、求められるカバー効果・使用性、色調や色数、メイクアップのし易さなどを検討しました。その結果、光の混色理論を用いた新しい「光フィルター技術」によって太田母斑・血管腫を自然にカバーできることを見いだしました。

今回、資生堂では、この光フィルター技術を用いた新製品「資生堂パーフェクトカバー」を95年9月に発売いたします。(写真1)



写真1

資生堂パーフェクトカバー

2. 光フィルター技術について

(考え方)

光の混色理論によれば、補色どうしの関係にある光を混ぜると、絵の具の混色とは異なり、白色になります。補色とは色相環で向かいあう色どうしをいいます。(図1)

この原理を用いると、あざの色に対してその補色の色の光を当てることによってあざを消すことができるというわけです。

(光フィルター技術とは)

目的とする色の光をつくりだす仕組みが「光フィルター技術」です。この技術は、光フィルターパウダーを透過する光をコントロールすることによって消したい色の補色の光をつくりだすものです。

この光フィルターパウダーは、超微粒子の酸化チタンと酸化鉄からなる薄膜素材で、広く化粧品に使われている安全性の高い原料からできています。この膜厚を変えることにより透過光の波長をコントロールできるため、必要な色の透過光を得ることができます。(図2)

図1 色相環



図2 光フィルターパウダー

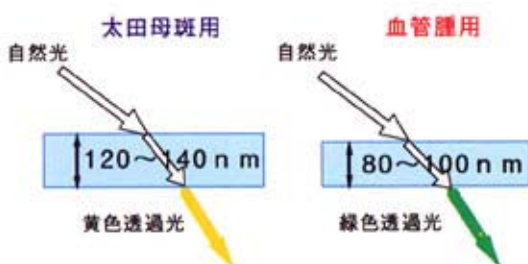
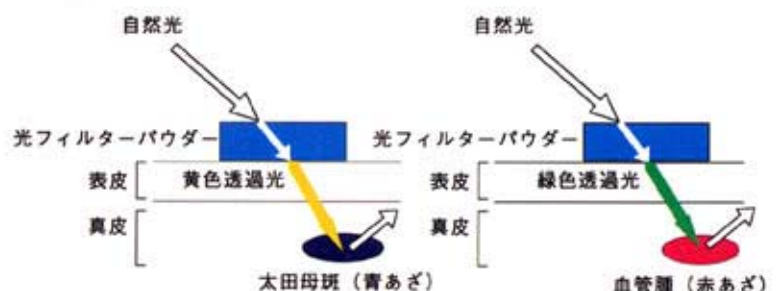


図3 光フィルター技術の概念図



例えば、太田母斑のような青あざは真皮上層～中層にある褐色のメラニン色素が光を*レイリー散乱して青く見えています。この青い光にその補色の黄色の光を当てることによって、あざを消すことができるのです。(図3)

今回開発した「光フィルター技術」によって、現状の商品の問題点を解消し、薄づきで自然な仕上がりで、しかもしっかりカバーすることが可能となりました。

*レイリー散乱：粒子の大きさが、波長の約10分の1以下の粒子によって起こる波長変化を伴わない光の散乱。太陽光は大気層を通過する時に空気分子やちりの分子によって散乱されるが、短波長の光ほど強く散乱されるために空は青く見える。

3. 資生堂パーフェクトカバー

3.1 基剤開発

現状の商品は高隠蔽性顔料を多量配合しているため油性基剤ですが、今回は光フィルター技術によって粉末の減量が可能となり、クリーム基剤にすることが可能となりました。

パーフェクトカバーは揮発性油分と保湿剤を配合したW/O乳化クリームで、

- ・べたつきのないさらっとした感触
- ・化粧くずれしにくい
- ・肌へのフィット性に優れ、上から重ねる全体用ファンデーションによって動いたりずれたりしない(全体用ファンデーションの剤型を問わない)

といった特長を持っています。

3.2 色調選定システム

太田母斑・単純性血管腫患者約70名の健常部・患部の色調を測定したところ、健常部に比べて太田母斑は明度・彩度ともに低く、血管腫は赤みよりで明度が低く彩度はやや高いということが分かりました。更に官能評価で健常部を色白・ふつう・色黒、患部を薄い・ふつう・濃

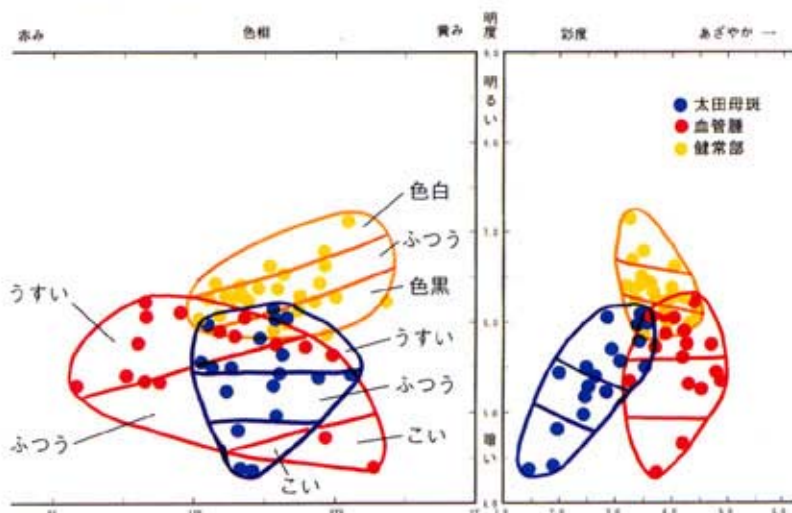
いの順に三分割すると図4のようになります。

このように様々な患者に対応する部分用ファンデーションの色調を検討したところ、健常部と患部の濃さの組み合わせは9通りとなりますが、太田母斑・血管腫ともに3色ずつの配置で対応可能なことがわかりました。(表1)

表1 色調選定システム

		太田母斑			血管腫		
		あざの色			あざの色		
		うすい	ふつう	こい	うすい	ふつう	こい
肌色	色白 00~10	32	32	34	62	62	64
	ふつう 20	34	34	36	64	64	66
	色黒 30~40	36	36	36	66	66	66

図4 太田母斑・血管腫患者の健常部・患部の色調



3.3 化粧法

パーフェクトカバーはW/Oクリーム基剤であること、自分に合う色が選べる色調配置であることの2点から簡単な化粧ステップになり、化粧時間も従来の15分から3分へ短縮されました。

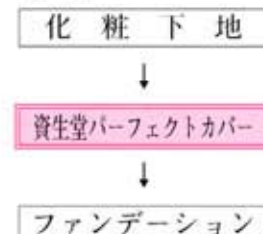
〈パーフェクトカバーの使い方〉

- ①乳液または化粧下地で肌を整える
- ②指先に少量とり、軽くたたくようにしてなじませる
- ③このあと顔全体にお持ちのファンデーションを重ねる。

〈従来の商品〉



〈資生堂パーフェクトカバー〉



3.4 商品概要と特長

資生堂パーフェクトカバーは、太田母斑用（OT）と血管腫用（PS）の2品目6品種が配置されています。

パーフェクトカバーOT、PSそれぞれのメーカーキャップの仕上がりを写真2に示します。

尚、PSは濃いしみもきれいに隠せることが使用テストで確認されています。

- 光フィルター技術による色補正効果でしっかりカバーしながら、薄づきで自然な仕上がりがり
- 肌にピッタリとフィットし、上から重ねるファンデーションが均一につき簡単できれいに仕上がる（オイルフリー処方）
- 余分な油分が肌に残らず、さらっとした感触で化粧くずれしにくい
（W/O乳化、オイルフリー処方、ウォーターブルーフポリマー配合）
- 紫外線防止剤配合（SPF18）、保湿成分配合
- 無香料・アレルギーテスト済み
- 使いやすいチューブ容器

本商品はお客さまに対する満足度の高いカウンセリングを実施できるよう取扱い店を全国主

写真2

血管腫

太田母斑



素顔

メーカーキャップ後 (PS)

素顔

メーカーキャップ後 (OT)

要デパート及びチェーンストア約500店としますが、皮膚科医や形成外科医を通じても取扱い店の紹介が出来るようお客さまの受入れづくりを推進します。なお、当社全国お客さま窓口でもカウンセリングの受付・取扱い店のご紹介を行います。

4. おわりに

従来のような隠蔽ではなく、新しい「光フィルター技術」によって青あざ（太田母斑など）・赤あざ（単純性血管腫など）を消し、しっかりカバーしながらも薄づきで自然な仕上がりの部分用ファンデーション「資生堂パーフェクトカバー」を開発しました。

今回パーフェクトカバーを使って頂いた方々からは、「薄づきでナチュラルに仕上がる」「時間が経っても脂うきしない」「皮膚感を感じる仕上がりで色調もあっているので顔が生き生きして見える」「今まで試した化粧品はどれもくすんだ仕上がりでしたが、これならくすまないで使いたい」といったコメントを頂いております。

資生堂パーフェクトカバーは、顔にあざを持つ方の化粧を「覆い隠す化粧」から「楽しむ装う化粧」へと変えました。1人でも多くの方に使って頂きたいと思えます。

商品名	色数	価格	容量	対象
資生堂パーフェクトカバー OT	3色 (32, 34, 36)	2,500円	25g	太田母斑用
資生堂パーフェクトカバー PS	3色 (62, 64, 66)	2,500円	25g	血管腫・濃いしみ用